

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間:
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果/処置内容	備考
1	規格タイトル	規格タイトルが「航空宇宙 品質マネジメントシステム 審査登録制度のオーバーサイト要求事項」となっているが、 英文は「Requirements for Oversight of Aerospace Quality Management System Registration/Certification Programs」であるから「審査登録制度」→ 「審査登録/認証プログラム」とした方がよい。 (9104-1も「Certification Programs」を「認証プログラム」としている) また、「for」は9104-1等との整合性から「～に対する」とした方がよい。	規格タイトルを「航空宇宙 品質マネジメントシステム 審査登録/認証プログラムのオーバーサイトに対する要求事項」とする。	一部採用	「航空宇宙 品質マネジメントシステム 登録/認証プログラムのオーバーサイトに対する要求事項」とする。 (“registration”は、JIS Q 17021:2011 1 適用範囲(後半)に“登録”と訳され、“認証”と同等の旨記述されているので、“Registration/Certification”を“登録/認証”とする。)
2	まえがき	「この規格は、各セクター管理委員会(SMS)の航空宇宙サプライヤーの品質システム認定/認証プログラムを…」とあるが「サプライヤー」→「供給者」、「品質システム認定/認証プログラム」→「品質システムの認定/認証プログラム」とした方がよい。	「この規格は、各セクター管理委員会(SMS)の航空宇宙供給者の品質システムの認定/認証プログラムを…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
3	まえがき	「a) 3つのグローバルセクター(すなわち、ヨーロッパ、アジア・太平洋、アメリカ)の…」とあるが、「アジア・太平洋」は他の9104-1、9101等に合わせて「アジア・パシフィック」とした方がよい。	「a) 3つのグローバルセクター(すなわち、ヨーロッパ、アジア・パシフィック、アメリカ)の…」に修正。	不採用	今後は「アジア・太平洋」で統一することとしているため。
4	目次	「6.2 オーバーサイトチームのリーダー」とあるが、本文では「オーバーサイト審査チームのリーダー」となっている。	「6.2 オーバーサイト審査チームのリーダー」に修正。	採用	変更提案通りとする。
5	目次	「7.10 研修コースのオーバーサイト」とあるが、本文では「研修クラス(TP)のオーバーサイト」となっている。	「7.10 研修クラスのオーバーサイト」に修正。 因みに(TP)は不要と思われる。	採用	変更提案通りとする。
6	目次	「附属書A - 9104-2様式」とあるが、本文では「SJAC9104-2様式」となっている。	「附属書A - SJAC 9104-2様式」に修正。	採用	変更提案通りとする。
7	目次	「表1- オーバーサイト審査頻度の一覧表」となっているが、本文内の表1では「オーバーサイト審査の頻度の一覧表」となっている。	「表1- オーバーサイト審査の頻度の一覧表」に修正。	採用	変更提案通りとする。
8	2	JAB基準の記述が太文字になっているものと標準体のものがある。	太文字にする意図が特になければ標準体にそろえる。	採用	変更提案通りとする。
9	2	「IAQG運用手順119」が、SJAC 9120規格の行に記載されている。	「IAQG運用手順119」について、改行して記載する。	採用	変更提案通りとする。
10	2	IAF文書に対応したJAB文書について、文書番号と共に、版及び文書名を記載していただいておりますが、一部、誤記があります(例: JAB MS301は、2014第2版が最新で、文書名は、「サンプリングに基づく複数サイトの認証についての基準」)。	IAF文書に対応したJAB文書については、文書番号のみを記す形として、その最新版や文書名については、JABウェブサイト参照いただく形とする。	一部採用	IAQG原文でもIAF文書の版(年号)は明記されていることから、変更提案は「不採用」とする。ただし、文書名の誤記は修正する。
11	3.4	9104-1 3.6「審査」の定義と差異がある。	9104-1 3.6の定義も参考にして、定義を見直す。	採用	9104-1と整合させる記述に見直す。

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間:
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果/処置内容	備考
12	3.6	9101E 3.1「封じ込め処置」と異なる訳文が用いられている。また、一部、9104-2案中の関連する様式では、「封じ込め処置」の文言が用いられている。	9101E 3.1と同じ文言を用いる。	採用	変更提案通りとする。
13	3.11	「この規格に従って資格を与えられ承認されて、・・」とあるが、「資格を与えられ」の後に「,」を入れるべき。	「この規格に従って資格を与えられ, 承認されて,・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。
14	3.13	第2文以降、訳出されていない。	第2文以降を合わせて訳出する。	採用	ご指摘の通りで、和訳されていませんでした。
15	3.15	一部、原文中の“assessment”及び“audit”が重複されて訳されていることもあり、読み取りが困難。	例えば、“assessment”及び“audit”には、一つの訳語(例: 審査)を用いる。	一部採用	訳語を見直す。
16	5.1.1	「・・様式A 業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)誓約書・・」とあるが、英文ではForm A, “Other Party (OP) Assessor Industry Controlled Other Party (ICOP) Declaration Form”とあるので “ ”が必要。	「・・様式A “業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)誓約書”・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。
17	5.1.3	「認定(AB)審査員は、SJAC 9104-1 規格が要求する力量と資格を有しなくてはならない。」とあるが、英文は「AB assessors shall be competent and qualified, as required by the 9104/1 standard.」であるから「SJAC 9104-1 規格によって要求されているように、力量と資格を有しなくてはならない。」とした方が望ましいと思われる。	「認定(AB)審査員は、SJAC 9104-1 規格によって要求されているように、力量と資格を有しなくてはならない。」に修正。	採用	変更提案通りとする。
18	5.2.2 a)	「監査経験:直近3年以内に、少なくとも3件のAQMS審査(第一者、第二者又は第三者審査)又は最低9監査日の業界監査」とあるが、英文では「Auditing experience: have conducted at least three AQMS audits (1st, 2nd, or 3rd party) or OP assessments for a minimum of nine assessment days within the last three years.」とあり、「three」と「for a minimum of nine assessment days」が「AQMS audits (1st, 2nd, or 3rd party) or OP assessments」の両方にかかっているようにも思えるため、意図について要確認と思われる。	意図の確認結果にもよるが、「three」と「for a minimum of nine assessment days」が「AQMS audits (1st, 2nd, or 3rd party) or OP assessments」の両方にかかっているとすれば、「監査経験:直近3年以内に、少なくとも3件で最低9監査日のAQMS審査(第一者、第二者又は第三者審査)又は業界監査」に修正する必要がある。	採用	変更提案通りとする。
19	5.2.2 b)	注記「・・・OEM又はOEMへの一次供給者サプライヤー、・・」とあるが、英文は「OEM, or tier one supplier to an OEM・・」となっているため、「サプライヤー」は不要。	「・・・OEM又はOEMへの一次供給者、・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。
20	5.3.7	「・・“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)申告フォーム”(様式A参照)に記録されなければならない。」とあるが、「申告フォーム」は他では「誓約書」となっている。	「・・“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)誓約書”(様式A参照)に記録されなければならない。」に修正。	採用	変更提案通りとする。
21	6.1.3	「“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)申告書フォーム”(様式A参照)」とあるが、「申告フォーム」は他では「誓約書」となっている。	「“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)誓約書”(様式A参照)」に修正。	採用	変更提案通りとする。

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間:
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果/処置内容	備考
22	6.2.1	「合同チーム審査[認定(AB)審査員と業界(OP)監査員]の場合、参加する認定審査員がオーバーサイト審査チームリーダーにならない。合同チーム審査でない(認定審査員がいない審査)場合、参加する業界(OP)監査員がオーバーサイト審査チームリーダーにならない。」とあるが、規格の文として「・・にならない。」は違和感がある。	「合同チーム審査[認定(AB)審査員と業界(OP)監査員]の場合、参加する認定審査員がオーバーサイト審査チームリーダーを担当しなければならない。合同チーム審査でない(認定審査員がいない審査)場合、参加する業界(OP)監査員がオーバーサイト審査チームリーダーを担当しなければならない。」に修正。	一部採用	以下のとおり変更する。 「合同チーム評価[認定機関(AB)審査員と業界(OP)監査員]の場合、参加する認定審査員がオーバーサイト評価チームリーダーを担当しなければならない。合同チーム評価でない(認定審査員がいない評価)場合、参加する業界(OP)監査員がオーバーサイト評価チームリーダーを担当しなければならない。」
23	6.2.4 a)	「影響を与えるすべての機関の間で特定された利害抵触の管理と解決」とあるが、英文の「between all affected parties.」とあるため「parties」を「機関」とは限定できないと思われる。	「影響を与えるすべての当事者の間で特定された利害抵触の管理と解決」に修正。	採用	変更提案通りとする。
24	6.4.6 a)	「・・教訓をOPMT に提供をする責任がある。」とあるが「提供をする責任がある。」は日本語として違和感がある。	「・・教訓をOPMT に提供する責任がある。」に修正。	採用	変更提案通りとする。
25	6.5.2	「・・・(すなわち、アジア太平洋、アメリカ及びヨーロッパ)・・・」とあるが、「アジア・太平洋」は他の9104-1、9101等に合わせて「アジア・パシフィック」とすべき。	「・・・(すなわち、アジア・パシフィック、アメリカ及びヨーロッパ)・・・」に修正。	不採用	今後は「アジア・太平洋」で統一することとしているため。
26	6.5.2 d)	「定期的レビュー及び教訓を報告する仕組み提供すること。」の文で「を」が抜けている。	「定期的レビュー及び教訓を報告する仕組みを提供すること。」に修正。	採用	変更提案通りとする。
27	6.6.3	「・・“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)申告フォーム”(様式A 参照)・・」とあるが、「申告フォーム」は他では「誓約書」となっている。	「・・“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)誓約書”(様式A 参照)・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。
28	6.7.1	「QMS 認証を認知することを・・・」とあるが、英文は「Any IAQG member company wishing to recognize AQMS certification・・・」となっているので「QMS」→「AQMS」とする。	「AQMS 認証を認知することを・・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。
29	7.1.5	表1内の「研修コース(TP class)」とあるが、7.10でも「class」は「クラス」としているので整合させた方がよい。	「研修クラス(TP class)」に修正。	採用	変更提案通りとする。
30	7.1.5	表1中、認証機関の最低限の審査頻度について、“Annually”の訳が他の箇所と異なっている。	“Annually”を「年1回」と訳す。	採用	変更提案通りとする。
31	7.2.4 f)	「当該組織体(機関)から・・」となっているが、(組織)はSJAC9104-3として追加したものであるから点線下線が必要。	点線下線を追加する。	採用	変更提案通りとする。
32	7.3.3 a)	「この規格とSJAC 9104-1 規格の中で・・・」とあるが、「と」は「及び」とした方がよい。	「この規格及びSJAC 9104-1 規格の中で・・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間：
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果／処置内容	備考
33	7.6.1 c)	「パフォーマンスと可用性を含むデータベースの運用」とあるが、「と」は「及び」とした方がよい。	「パフォーマンス及び可用性を含むデータベースの運用」に修正。	採用	変更提案通りとする。
34	7.7.3	「…箇条10に規定されているように、…」において「れ」が抜けている。	「…箇条10に規定されているように、…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
35	7.7.4	「…IAQG OPMTが指名した業界(OP)監査員(リーダー)又は、SMSが割り当てた業界(OP)監査員(リーダー)によって…」とあるが、英文では「an IAQG OPMT assigned lead OP assessor or the SMS appointed lead OP assessor」とあり、「assigned」と「appointed」が使用されている。どちらも「指名した」あるいは「任命した」になると思われるので「割り当てた」は違和感あり。また、「assigned」と「appointed」が別の用語として出てきているため、同じ用語を当てはめるのは好ましくないことから「assigned」と「appointed」の英語の意図を考慮すると「assigned」は「指名した」、「appointed」は「任命した」とした方がよい。(尤も、規格作成者が意図的に区別してこれらの用語を使用しているかは不明)	「…IAQG OPMTが指名した業界(OP)監査員(リーダー)又は、SMSが任命した業界(OP)監査員(リーダー)によって…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
36	7.8.1 b)	「SJAC 9104-1 規格とSJAC 9104-3 規格…」とあるが、「と」は「及び」とした方がよい。	「SJAC 9104-1 規格及びSJAC 9104-3 規格…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
37	7.9.1 a)	「規定された9104 シリーズ規格の要求事項への適合」とあるが、英文は「conformity to established 9104-series standards requirements.」となっている。「established」は他(7.10.1等)では「設定された」としているため、ここでも「設定された」とした方がよい。	「設定された9104 シリーズ規格の要求事項への適合」に修正。	採用	変更提案通りとする。
38	7.9.1 b)	「SJAC 9104-1 規格とSJAC 9104-3 規格で…」とあるが、「と」は「及び」とした方がよい。	「SJAC 9104-1規格及びSJAC 9104-3 規格で…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
39	7.10.1 b)	「TP の手順とプロセスとの適合」とあるが、「と」は「及び」とした方がよい。	「TP の手順及びプロセスとの適合」に修正。	採用	変更提案通りとする。
40	7.11.6	「accredited CB」について、「CB」と訳されているが、原文との整合の観点から、「認定されたCB」と訳すことが望ましい。	「CB」を「認定されたCB」と見直す。	採用	変更提案通りとする。
41	7.12.7 注記	「…補足的オーバーサイト…」とあるが、7.13のIAQG メンバー会社の補足オーバーサイトを指していると思われるので「的」を削除した方がよい。	「…補足オーバーサイト…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
42	7.13	「IAQG メンバー会社の補足オーバーサイト」とあるが、他の箇条では「Oversight of XXXX」と記載されており(例: 7.12 Oversight of Certification Bodies)、「XXXXのオーバーサイト」とは「XXXX」に対するオーバーサイトの意味になっている。しかし7.13では「International Aerospace Quality Group Member Company Supplemental Oversight」となっており、「IAQG メンバー会社が行う補足オーバーサイト」のことであるから記述の修正が必要。	「IAQG メンバー会社による補足オーバーサイト」に修正。 修正の場合、目次も修正要。	採用	変更提案通りとする。

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間:
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果/処置内容	備考
43	7.13.3 c)	「… 審査される組織体(機関)を認知したSMS 又はCBMC に送らなければならないこれには…」とあるが、「…ならない」のあとに句読点(。)がない。また、「送らなければならない」は「送付しなければならない」とする方がよい。	「… 審査される組織体(機関)を認知したSMS 又はCBMC に送付しなければならない。これには…」に修正。	採用	変更提案通りとする。
44	7.13.3 d)	「…補足オーバーサイトが実施されたSMS に提供しなければならない。」とあるが、この意図は補足オーバーサイトが実施された組織体(機関)が属するSMS に提供することであるから補足説明が必要と思われる。	「…補足オーバーサイトが実施された(組織体(機関)が属する)SMS に提供しなければならない。」とする。つまり、「(組織体(機関)が属する)」を追加する。	採用	変更提案の追加を行い、大括弧を用い、点線下線も追加する。
45	7.15.1	「不適合報告書」について、原文では、“nonconformity”が用いられている。	本項と同様の規定をしている、9104-1 5.3.8 a)も参考にして、訳文を見直す。	採用	以下のとおり変更する。 「オーバーサイト評価チームリーダーは、オーバーサイト評価中に特定された不適合のすべてが、SJAC 9104-1に従って処理されるとともに、封じ込め処置が実施され、根本原因の分析を伴って成功裏に修正され、不適合が発行された日付から暦日90日以内に、是正処置が実施され、レビューされ、容認され、検証されることを確実にしなければならない。」
46	8.1	「…各自のオーバーサイト活動のレビューと審査を実施しなければならない。」とあるが、英文は「a review and evaluation of their oversight activities…」となっている。「evaluation」は一般的に「評価」であり、「審査」ではないため、「評価」とした方がよい。また、「と」は「及び」とした方がよい。	「…各自のオーバーサイト活動のレビュー及び評価を実施しなければならない。」に修正。	採用	変更提案通りとする。
47	附属書A	「様式L」の名称に誤記がある。	「…シート」と記す。	採用	変更提案通りとする。
48	附属書B - 略語集	「CEN 航空宇宙防衛ヨーロッパ規格協会(European Committee for Standardisation)」とあるが、CENは航空宇宙の規格協会ではなく、一般的には「欧州標準化委員会」と呼ばれているので修正要。	「CEN 欧州標準化委員会(European Committee for Standardisation)」に修正。	採用	変更提案通りとする。
49	附属書B - 略語集	「MoD 英国防省(Ministry of Defence)」とあるが、なぜ英国なのか不明。Ministry of Defenceは、それぞれの国の「国防省」のことではないか？	「MoD 国防省(Ministry of Defence)」に修正。	採用	変更提案通りとする。
50	附属書B - 略語集	「N/A 非適用(Not Applicable)」とあるが、一般的には「適用外」が使用されていると思われる。因みに様式で使用されているN/Aは「適用外」を使用している。	「N/A 適用外(Not Applicable)」に修正。	採用	変更提案通りとする。
51	附属書C	右下の「アウトプット」欄のフォントが統一されていない。また、英文ではOn Time & On Qualityに下線があるが、「適合する製品及びサービスの納期どおりの引渡し」に下線がない。	修正する。	採用	変更提案通りとする。
52	様式C	基本情報欄の「該当する場合」のフォントが他と異なっている	修正する。	採用	変更提案通りとする。

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間：
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果／処置内容		備考
53	様式C	審査結果： 以下のように審査結果を表内に記録する： Document assessment results within the table as follows: ・・とあり、英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
54	様式C No.11	「・・・自社のTier 2 データへのアクセスを電子的に管理することができるようにする機能があるか？」とあるが、英文は「Does the OASIS database have the functionality to allow certified organizations to electronically manage access to their respective Tier 2 data.・・」とあるため、「・・できる」ではなく、「許容する」とした方がよい。	「・・・自社のTier 2 データへのアクセスを電子的に管理することを許容する機能があるか？」	採用	変更提案通りとする。	
55	様式C No.13	「OASIS データベースへの承認された変更のいずれも、文書化された変更依頼が開始され、記録されているという証拠があるか？」とあるが、やや意味が不明。また、英文では「maintained」であるため「記録」ではなく、「維持」とした方がよい。	「各々の承認されたOASIS データベースの変更について、文書化された変更依頼が起草され、維持されているという証拠があるか？」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
56	様式D	□で囲まれた記入要領の記述の文末に句読点(。)がないものが多い。	句読点(。)を入れる。	採用	変更提案通りとする。	
57	様式E	フォントが他と異なっている箇所がある。 例：基本情報欄の「該当する場合」、適用外(N/A)－評価項目は、適用されない。・・の文、No.6、No.20、No.32、小見出しの「機密保持及び利害抵触」、「研修提供者承認機関(TPAB)」、「研修クラス」、「記録」、「その他」	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
58	様式E No.3	「当該メンバーは関連する会議参加しているか？」の文で「に」が抜けている。	「当該メンバーは関連する会議に参加しているか？」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
59	様式E No.19	「・・・SJAC9104-2“業界(OP)監査員ICOP 申請書”(様式A)・・」は本文に合わせて「申請書」を「誓約書」に修正要。	「・・・SJAC9104-2“業界(OP)監査員ICOP 誓約書”(様式A)・・」に修正。	一部採用	様式Aの名称とする。	
60	様式E No.20	「記入された“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)申告様式”(SJAC 9104-2 様式A)・・・」は本文に合わせて「申請書」を「誓約書」に修正要。	「記入された“業界(OP)監査員の業界による監視制度(ICOP)誓約書”(SJAC 9104-2 様式A)・・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
61	様式F	フォントが他と異なっている箇所がある。 例：基本情報欄の「該当する場合」、適用外(N/A)－評価項目は、適用されない。・・の文、No.6、No.19、小見出しの「レゾリューション」、「機密保持及び利害抵触」、「研修提供者承認機関(TPAB)」、「研修クラス」、「記録」、「その他」	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
62	様式F No.21	「不適合が許容された完了期限を超過する場、・・」の「場、」を「場合、」に要修正。	「不適合が許容された完了期限を超過する場合、・・」に修正。	採用	変更提案通りとする。	

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間:
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果／処置内容		備考
63	様式G	フォントが他と異なっている箇所がある。 例:基本情報欄の「業界(OP)監査員・・・」、「該当する場合」、適用外(N/A)－評価項目は、適用されない。・・の文	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
64	様式G 小見出し	「Auditor Authentication Body Personnel 審査員資格証明機関の要員」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
65	様式H	フォントが他と異なっている箇所がある。 例:基本情報欄の「該当する場合」、適用外(N/A)－評価項目は、適用されない。・・の文	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
66	様式H 小見出し	「その他のプロセス」とあるが、英文にない。	「その他のプロセス」を削除。	採用	変更提案通りとする。	
67	様式I	フォントが他と異なっている箇所がある。 例:基本情報欄の「氏名」、適用外(N/A)－評価項目は、適用されない。・・の文	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
68	様式I No.10	「Is the TP approved course materials,including case studies, used for delivery of the course?」の英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
69	様式I No.12	「I 追加講師又は訓練中の講師が特定の主題 又は活動について使用される場合でも・・」で先頭になぜか「I」がある。	「I」を削除。	採用	変更提案通りとする。	
70	様式I 小見出し	「Instructor Qualification 講師の資格」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
71	様式J	フォントが他と異なっている箇所がある。 例:基本情報欄の「業界(OP)・・・」、適用外(N/A)	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
72	様式J 小見出し	「Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) データベース」となっているが、他の様式に合わせて「OASISデータベース」とした方がよい。	「OASISデータベース」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
73	様式K	フォントが他と異なっている箇所がある。 例:基本情報欄の「業界(OP)・・・」、適合(C)	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
74	様式K No.2	「IAB が審査実施に先立ち、・・」の先頭になぜか「I」がある。	「I」を削除。	採用	変更提案通りとする。	
75	様式K 小見出し	「Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) データベース」となっているが、他の様式に合わせて「OASISデータベース」とした方がよい。	「OASISデータベース」に修正。	採用	変更提案通りとする。	

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間：
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果/処置内容		備考
76	様式K 小見出し	「Miscellaneous Processes その他のプロセス」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
77	様式L	フォントが他と異なっている箇所がある。 例: 適用外(N/A)一評価項目は、適用されない。・・の文。No.5、	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
78	様式L No.9	「CB が発行されたIAQG OPMT のresolutions に適合していることを示す根拠はあるか？」の「resolutions」は他の様式では「レゾリューション」を使用しているので合わせた方がよい。	「CB が発行されたIAQG OPMT のレゾリューションに適合していることを示す根拠はあるか？」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
79	様式L No.30	「ICB が、第一段階審査前に、・・・」の先頭になぜか「I」がある。	「I」を削除。	採用	変更提案通りとする。	
80	様式L No.36	「ICB は、該当する・・・」の先頭になぜか「I」がある。	「I」を削除。	採用	変更提案通りとする。	
81	様式L No.43	「ICB が、全ての発行された・・・」の先頭になぜか「I」がある。また、参照規格欄で「SJAC9104-1 附属書x B」とあるが、「x」は不要。	「I」及び「x」を削除。	採用	変更提案通りとする。	
82	様式L No.47	「依頼者の(認証の)移転を受け入れる場合、CB のプロセスは、認証文書発行前に依頼者(認証組織)の全ての登録の移転の要求事項が(SJAC 9104-1 の規定と)合致していることを確実にしているか？」とあるが、「登録の移転」は、正確な用語としては「認証の移転」とした方がよい。	「依頼者の(認証の)移転を受け入れる場合、CB のプロセスは、認証文書発行前に依頼者(認証組織)の全ての認証の移転の要求事項が(SJAC 9104-1 の規定と)合致していることを確実にしているか？」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
83	様式L 小見出し	「Client / Audit Process 依頼者/審査プロセス」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
84	様式L 小見出し	「Certification Process 認証プロセス」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
85	様式L 小見出し	「Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) データベース」となっているが、他の様式に合わせて「OASISデータベース」とした方がよい。	「OASISデータベース」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
86	様式M	フォントが他と異なっている箇所がある。 例: 基本情報欄の「認証機関名:」、「住所」、「受審組織名及び住所」、「(認証機関)審査チームリーダー:」、「(認証機関)チームメンバー:」、このチェックリストは9104-1 認証機関の・・・の文、適用外(N/A)一評価項目は、適用されない。・・の文。また、質問項目全体も他の様式と異なっている。	修正する。	採用	変更提案通りとする。	
87	様式M No.14	「・・・マルチプルサイトの情報、認証/認定のscope)が正しいことを確実にしているか？」の「scope」は「範囲」とした方がよい。	「・・・マルチプルサイトの情報、認証/認定の範囲)が正しいことを確実にしているか？」に修正。	採用	変更提案通りとする。	

SJAC 9104-2規格改正 (Rev.A) 原案 パブリックコメントレビュー・処置結果

パブリックコメント募集期間:
2014年 11月 13日(木) ~ 2014年 11月 28日(金)

JAQG規格検討ワーキンググループ
2014年 12月 25日

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	JAQGLレビュー結果／処置内容		備考
88	様式M No.21	「審査チームは、審査の間適切な間隔で、…」で「間」のあとに「,」が必要。	「審査チームは、審査の間、適切な間隔で、…」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
89	様式N	英文では9101D対応の様式Nとなっているのに対し、改正原案では9101Eに対応したものしか掲載されていないが、問題ないか？	必要に応じ、9101D対応の様式Nを追加する。	採用	変更提案通りとする。	
90	様式N	基本情報欄に英文の「City, State, Country」に相当する記述が抜けている。	基本情報欄の3段目に「国, 県, 市」を追加する。	採用	変更提案通りとする。	
91	様式N No.2	「不適合のフォローアップ(SJAC9101 4.2.4 参照)及び特別審査(4.3.6 参照)を除き、各現地審査に対して、SJAC 9101 4.2.2.1 aから4.2.2.1 hに規定されているように、適切な審査活動がすべて実施されたことを示す審査報告書の中に証拠はあるか？」とあるが、意味がわかりにくい。	「不適合のフォローアップ(SJAC9101 4.2.4 参照)及び特別審査(4.3.6 参照)を除き、審査報告書の中に、各現地審査に対して、SJAC 9101 4.2.2.1 aから4.2.2.1 hに規定されているように、適切な審査活動がすべて実施されたことを示す証拠はあるか？」に修正。	採用	変更提案通りとする。	
92	様式N 小見出し	「Stage 1 Audits 第一段階審査」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
93	様式N 小見出し	「Stage 2 Audits 第二段階審査」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
94	様式N 小見出し	「Surveillance Audits サーベイランス審査」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
95	様式N 小見出し	「Recertification Audits 再認証審査」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	
96	様式N 小見出し	「Special Audits 特別審査」とあるように英文が残っている。	英文を削除する。	採用	変更提案通りとする。	